

クラシックカー



和東を走るクラシックカー

4月16日府道木津信楽線を中心に54台のクラシックカーが和東町を通過しました。

第1回定例会

- | | | |
|--------|---------------|----------|
| 決まったこと | 28年度予算 災害への備え | >>> P.2 |
| 主な質疑 | 地方創生加速化交付金 | >>> P.6 |
| 一般質問 | 4人が町政を問う | >>> P.8 |
| 委員会報告 | 総務厚生・産業 | >>> P.14 |
| まちの元気 | 和東の森探検隊 | >>> P.16 |

強化に重点

平成28年度予算

消防団の機能強化へ



耐震改修される和東町庁舎

平成28年度一般会計予算の大きな事業の一つが役場庁舎等の公共施設の耐震改修で、役場庁舎に1億円、人権センターに931万円を計上。耐震ブレースや耐震壁を設置し補強を図ります。保育園も

耐震補強工事等の設計費644万円を計上。災害時に防災拠点や避難所となる公共施設の機能強化を目的としたものです。トイレ洋式化、エレベーター設置、議場設備等の改修も

耐震設計も 役場庁舎、人権センターを改修。 保育園の

3月定例議会（3月11日～24日）では、町長提出の平成28年度予算、平成27年度補正予算、14本の条例制定並びに改正、請負契約の変更、議員発議の2本の意見書等を審議しました。当初予算は、15日、17日に開催した予算特別委員会で審議。事業内容やまちづくりの方向性、予算の使い方等について審議を行い、討論、採決の結果、一般会計及び特別会計の予算案を原案通り可決しました

役場庁舎では耐震工事にあわせトイレの洋式化、エレベーター設置、照明のLED化、議会中継再開も視野に入れた議場音響設備等の改修も予定し、約2億3000万円を計上。質疑の中で1階に多目的トイレを設置し乳幼児等の利用にも対応し、役場玄関前のバリアフリー化も検討する方向が示されました。緊急時の職員参集は、災害対策に関連し、職員の6割が町外在住の実態から緊急時に迅速な参集が可能かとの指摘も。質疑で、平時は多くが1時間以内に参集可能の一方、災害時は遅れが出る事が明らかとなり、より万全な体制づくりが必要となつていきます。

役場庁舎では耐震工事にあわせトイレの洋式化、エレベーター設置、照明のLED化、議会中継再開も視野に入れた議場音響設備等の改修も予定し、約2億3000万円を計上。質疑の中で1階に多目的トイレを設置し乳幼児等の利用にも対応し、役場玄関前のバリアフリー化も検討する方向が示されました。緊急時の職員参集は、災害対策に関連し、職員の6割が町外在住の実態から緊急時に迅速な参集が可能かとの指摘も。質疑で、平時は多くが1時間以内に参集可能の一方、災害時は遅れが出る事が明らかとなり、より万全な体制づくりが必要となつていきます。

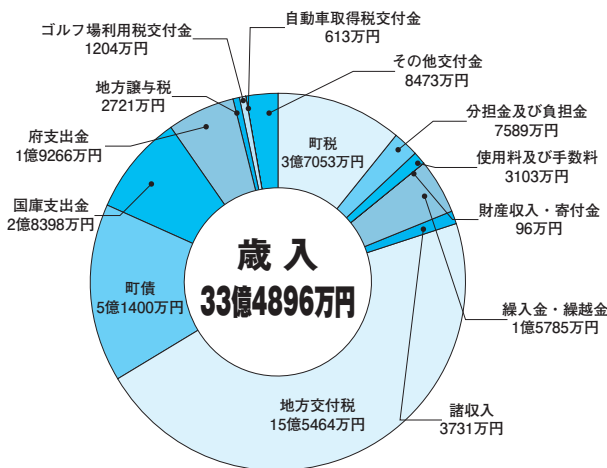


出初め式

地域防災の要である消防団員の確保や機能強化を目的にした、報酬や出勤手当の増額、

消防団員の処遇改善 機能別分団の設置へ

OB団員や役場班、女性班等の機能別分団の設置・団員の採用等に関わる予算が計上され、新年度から実施されます。消防団員の減少、団員の処遇改善を進める国の方針等をふまえた措置で今後の団員の確保、消防団活動の強化にどうつながるか期待されます。



地震など災害への備え

公共施設の耐震改修



農家民宿 茶畑なごみ

今年度から752万円を計上し、町外から「地域おこし協力隊」3名を配置。3年間住ん

地域おこし協力隊を配置。農家民宿開設に50万円補助。

町は改定した「第4次総合計画・後期基本計画」で5年後の人口見込みを4300人と

定住人口増へ、空き家活用の検討、子育て支援事業の継続

設定し、その実現にむけて空き家活用を移住者等の受入れの柱とし、中3までの医療費無料

で地域おこしの業務を行い定住につなげるね

長年据置かれてきた、嘱託職員の報酬、臨時職員の賃金が増額されました。臨時職員では、一般事務が825円を840円、保育士885円を950円等です。また、買い物困難者への支援として136万円を計上。商工会との連携で買い物代行や宅配等を行います。

嘱託・臨時職員賃上げ 買物支援を実施へ



らい。主に湯船地区で活動予定です。27年度で補正され新年度に繰越した農家民宿を開設に最高50万円を補助する事業が計上されました。

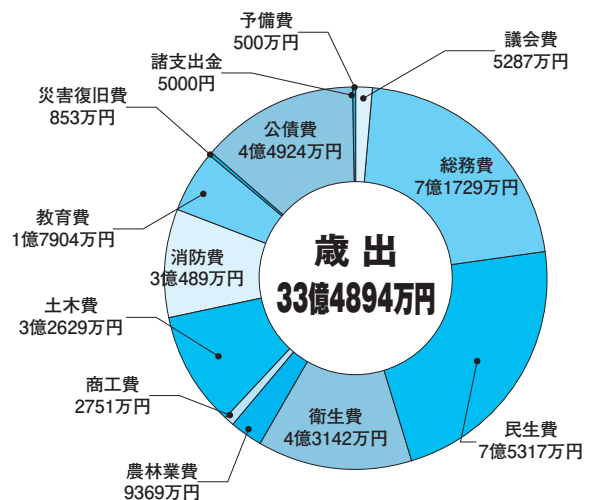
化や第3子保育料無償、予防接種補助等の子育て支援を継続し保育園のトイレ(子ども用2大人用1)洋式化した。136万円を計上しました。空き家バンク等、空き家活用対策の具体化が急がれます。

特別会計予算

後期高齢者医療では保険料改定へ

湯船財産区、国民健康保険、簡易水道、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計の予算案も、原案通り可決しました。後期高齢者医療

事業では、2年ごとの保険料改定が広域連合議会で決められ、それに基づく保険料に改定。1人当たり平均年間1816円の値上げとなりました。



予算特別委員会

主な質疑

問 公共交通の充実度は？

答 路線バスのあり方の協議、コミュニティバスの検討を続けている。28年度中には方針を出したい。

問 交通費の補助、負担軽減策は。

答 運賃補助の予算は計上していない。



奈良交通路線バス

問 座を實施していきたい。交通安全灯のLED化の計画は。

答 新設の安全灯はLEDで設置している。既存の安全灯の更新も対応できないか検討している。

問 釜塚で防火用水を設置するが、最近では防火用水での消火はあまりなく、設置の意図は？

答 水利の確保や、耐震性であり地震対策として有効と考えている。



防火水槽設置予定地(釜塚地内)

問 「美しい村連合」についての考え、理念は

答 観光や交流で地域おこしに取り組みまちとの連携を生む事が一番と考える。

問 「美しい村連合」になぜ入り、どういった条件で入ったのか

答 加入した大きな思いは、住民が故郷・和東に誇りを持つ事と考えている。

問 府道沿いのゴミ拾いのアルバイトの雇用再開は

答 今後また検討したい。

問 27年度末で何人の退職があるか。定年か中途か。

答 一般事務職で7名、看護師1名、保育士1名で計9名。定年退職は3名。

問 28年度の新規採用は。保育士、看護師の退職は正職で補充できるのか。

答 欠員補充で一般職7名、看護師1名、保育士は体制充実で2名予定している。

問 途中で退職し別の自治体に行く職員もいるのか

答 残念だがそういうケースも出ている。

問 特に専門職の定着がでない事の分析が必要では。

答 適材適所も見極めながら職員を育てていきたい。

問 観光案内所の設置の予算は。

答 当初予算に計上していないが、財源に目途が立てば補正予算でお願いしたい。

問 農道整備への補助の検討を。

答 地権者等の協力をいただきながら進めたい。

問 町産品開発の委託内容は。

答 活性化センターに委託し開発を進めている。

問 東部クリーンセンター稼働期限にむけた取組みは

答 連合で検討報告が出されている。方向性は稼働延長、別施設の整備、民間委託の3つだが、緊急避難措置も含め考えていく。



相楽東部クリーンセンター

問 配食サービスの現状は？週1回程度の回数へ改善は

答 11月から3月の期間で月2回、1食200円で実施。今後、商工会との連携で週1回程度お願いできればと考えている。

問 今年度が交付税のピークではないか

答 特別交付税の枠を有効に活用したい。

可決した条例など

【条例・規約の制定】

● 行政不服審査法の施行にともなう関係条例

● 相楽東部行政不服審査会の共同設置に関する規約

● 公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例

● 公共施設の管理の民間委託を可能にするもの。

● 地域福祉計画策定委員会条例

● 一般職の任期付職員の採用等に関する条例

● 和東山の家の設置及び管理に関する条例

● 7月のリニューアルオープン後の利用料金や指定管理者による管理規定等を定めた。

● 体験交流センターの設置及び管理に関する条例

● 事業内容に農業・援農体験、ボランティア等を追加し、町内外住民の一層の交流と定住の促進を図る事を目的に制定した。

【条例の改正】

● 消防団員等公務災害補償条例

● 町税条例

● 地方税の申告手続きの際に個人番号（マイナンバー）の記載を不要とした。

● 国民健康保険条例

● 被保険者が死亡した際に支給する葬祭費の額を、3万円から5万円に増額した。



茶畑景観資産(釜塚地内)

問 宇治茶の世界遺産登録の取組みをどう考えるか。

答 文化的景観での登録が流れになっている。

問 世界遺産に入れば規制がきつくなるのでは。住民説明が必要では。

答 農家の生業を守ってこそ景観である事を理解いただきたい。

問 教育費や学童保育料の軽減は。

答 連合議会での議論等も踏まえて今後も努力したい。

問 水道メーター交換は業者でやるのか。

答 業者に委託している。

問 交換業務の契約は随意か。一般競争入札か、何社くらいか。

答 随意契約で業者組合においている。

討論

平成28年度予算

※質疑を終結した後、採決を行う前に、議案の賛否の理由等を述べるのが討論です。討論は、反対議員から先に行うルールになっています。今回は、一般会計予算案に対する討論(要旨)を紹介します

岡本正意 議員

個別には評価できる施策もあるが、全体としては、改善の余地は多く以下の理由で反対する。①定住促進は住宅整備、子育て支援充実が軸だが、ふさわしい具体化がない。②住民生活を守る取組みが不十分。し尿汲み取り手数料の軽減、ゴミ袋の無料化、住宅改修菟助成制度の実施など検討すべき。③高齢者福祉・医療について、町の支援が不十分。介護保険や後期高齢者医療の独自の軽減措置など実施を。④公共交通充実について未だ不透明であり着実な具体化を求める。⑤茶業は予算的に従来の枠をでていない。林業再生へ人材育成の施策を盛り込むべき。⑥広域連合での教育委員会運営が根本的な誤り。連合事務から外すべき。⑦同和行政は予算額は減少しているが、貴重な税金を運動団体に支出している実態は直ちに改善すべき。

井上武津男 議員

一般会計の予算規模は、対前年度6.3%増の33億4,900万円と過去2番目の積極型予算。防災拠点となる庁舎や避難所である公共施設の耐震化や機能別団員の登用など、住民の命と暮らしの安全を最優先した予算編成である。

買い物に不便を感じている高齢者の増加を踏まえ、買い物サービスを実施する等、福祉施策の新たな取り組みを開始し、少子化対策として、多子世帯の保育料の無料化や昨年度に続き、保育園での英会話教育など、和東ならではの教育の推進を先駆的に実施している。

また地域外の人材を積極的に受入れ、定住・定着を図る事を目的に、地域おこし協力隊によるまちづくりに着手する等、地方創生の本格実施年度として特色ある予算編成となっている事から賛成する。

- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- 議員及び非常勤職員の公務災害補償に関する条例
- 議員報酬及び費用弁償等に関する条例
- 特別職で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例
- 職員との給与に関する条例【契約・その他】
- 過疎地域自立促進市町村計画の策定
- ↓ 平成28年度、32年度の計画を策定した。
- 町道路線の変更
- 和東山の家耐震並びに増改修・研究所増改修工事請負契約の変更
- ↓ 工期を6月20日まで延長。
- 和東山の家耐震並びに増改修に伴う厨房機器購入契約の変更
- ↓ 納期を6月20日まで延長。
- 和東山の家備品(家具等)購入契約の締結
- ↓ 金額1155万6000円
- 契約相手(株)ウエダ本社
- 和東山の家の指定管理者の指定
- 活性化センターを指定
- 町営第3中西団地住宅立替工事請負契約の締結
- ↓ 金額8800万3800円
- 契約相手井上・山城特定建設工事共同企業体

平成27年度
補正予算

マイナンバーセキュリティ強化対策 地方創生加速化交付金で地方の活性を促す

平成28年度第1回定例会では（3月24日）に、町長からは一般会計、簡易水道特別会計、介護保険特別会計の27年度補正予算が提案されました。審議の結果町長提案の議案はすべて可決されました。

地方創生加速化交付金などで一般会計補正予算（第5号）は1億864万円の増

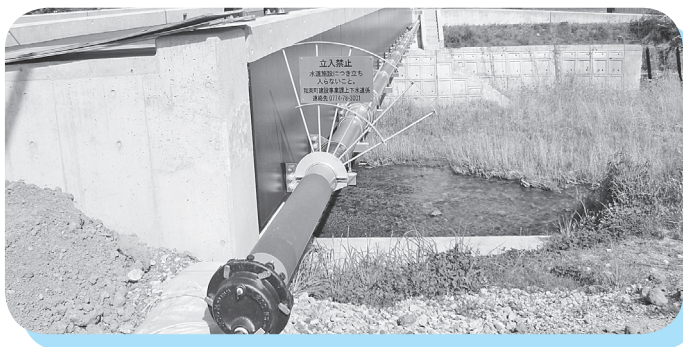
地方創生加速化交付金や、マイナンバーセキュリティ強化対策補助を受け、道路橋梁費の5957万円を計上、差引1億864万円の増額補正となりました。

主なもの

- DMO設立経費
- 「お茶の京都」における広域観光推進の母体となるDMO設立に係る負担金 130万円
- 農家民泊開設補助金
- 農家民泊開設にあたり改修経費等の一部を支援 500万円
- 民間国際交流推進補助金
- 和東茶の販売形成に民間レベルでの海外交流の推進支援 200万円
- 地域コンテンツ充実支援補助金
- 観光客向けの特産品、観光コースの開発 500万円
- 地域住民による観光整備事業 地域住民が主体となり景観資産の周辺整備 450万円
- フィールドアスレチック設置調査費
- 湯船森林公園内での調査委託料 400万円
- お茶を活かした新産業創出事業
- ハープ、ケール等の商品販売路拡大 1440万円
- 森を活かした新産業創出事業委託料
- 木育玩具、木材インテリアの開発等 650万円
- 農業体験事業と民泊事業の推進委託料
- コーデイネーター育成、民泊開拓等 646万円
- 和東山の家厨房等備品購入 897万円
- 情報セキュリティマイナンバー強化対策委託料、備品購入費 2095万円
- 農家民泊等広域観光受け入れ、体制整備負担金
- 農家民泊の開設支援、宿泊体験、広域観光推進に係る人件費等 910万円



ガラスハウス ハーブ栽培



門前橋水道管架け替え

簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）

翌年度への繰越事業で、門前橋水道管の架け替え工事 1250万円

介護保険特別会計補正予算（第3号）

年金生活者等支援臨時給付金として1人当たり3万円補助するもの
総額1860万円

補正予算関連 主な質疑

平成28年第1回和東町議

会定例会は平成28年3月24日(木)に開催されました。

町長からは平成27年度一般会計補正予算(第5号)、平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)、平成27年度介護保険特別会計補正予算(第3号)が提案され各委員より質疑がありました。

に随時搬入の予定だ。

問

答

湯船森林公園内のフィールドアスレチックを設置するための調査の説明を。

問

現在、マウンテンバイクのフィールド内に、ご家族で来られる方に基礎体力の向上や、学習の場を提供できないかを調査する経費。

問

長らく、通行止めになっている中地区の日本一橋の復旧目途はいつごろか。

問

3月中に入札して発注する。4月には契約を行い農繁期までには復旧したい。

問

和東茶を活かした新産業の創出事業委託料とは

問

茶業に次ぐ新たな農産物の栽培の実験、また新商品の開発、販路の開拓を図る。ハーブ、ケール栽培を広げ農家に栽培の普及を促して、6次産業化につなげたい。

問

和東茶カフェの案内標識が出来たが、課題として道路標識が大変わかりにくい。駐車場が確保されていないが。

問

DMOが今後どういふふうに活用されていくのか答弁いただきたい。

問

地方創生、特に地域を活性化させていく交流人口の増加、地域需要の創出観光の活用ということ、インバウンド事業の取り込みを図っていきたい。

問

多額の調整基金を積んでいるが一般財源に充てられないのか。

問

一定の調整基金を積むことが、健全財政を維持しているという意味では非常にアピールをすることにもなる。

問

空き家になれば速やかに相続人のデーターベースを作成しておくべきだ。

問

危険な空き家の解体要請など発生するので、行政のほうから事前に連絡する対応を考えていきたい。



ペットボトルで販売される和東茶

町政を問う！提案する！ 一般質問

3月11日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。質問順に、各議員の質問項目を紹介します。

●村山一彦議員

1. 地籍調査について
2. 和東町第4次総合計画・後期基本計画について

●岡本正意議員

1. 高齢者の介護・医療について
2. 子育て世帯の経済的負担の軽減について

●岡田泰正議員

1. 路線バスを絶やさないとの強いメッセージを発信せよ
2. 「地域のかかりつけ医」としての診療所のあり方とは

●藤井清隆議員

1. 森林の整備について
2. ゴミ減量化について

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



問

地籍調査の進捗率は

答

和東町は38%である

問

地籍調査の進捗率は全国平均51%、京都府はわずかに8%であるが和東町は。

答

建設事業課長

和東町の進捗率は38%であり、実施済地区は小字単位で160地区、面積は約25km²である。

問

人口減に悩んでいる和東町。地籍調査による環境整備は絶対必要と考えるが町長の考えはどうか。

答

町長

調査方法が変わったこと、そして非常に厳しい財政状況でもあり、平成17年度より休止状態である。しかし、災害時には早期に土

地の形状を復元できる大きなメリットがあり、地籍調査事業の再開を目指していきたい。

第4次総合計画後期基本計画について

問

平成32年度人口目標値4300人となっているが、その方策はなにか。

答

地方創生担当課長

国立社会保障人口問題研究所の人口推計をもちい出生率を平成32年に1.6人の目標を設定。

目標達成に向けて地方創生総合戦略に掲げたさまざまな施策を講じ、出生率の上昇、移住、定住促進施策を実施し、定住人口を約4



村山 一彦 議員

000人とする。

また、魅力的な地域資源を生かし、週末や年のうち一定期間を暮らす第二定住人口として3000人を見込み、4300人としている。

問

定住奨励金制度とは。

答

地域力推進課長

府の支援等の活用も視野に入れながら定住促進に向けた支援策を検討していきたい。定住奨励金については、現在のところ、まだ制度設計をしていない。

問

空き家の活用とマッチング支援とは。

答

地域力推進課長

昨年度から和東町へ府からまちの公共員を入れていただき民間主導による空き家の活用についての方向性や移住受入体制づくりを検討している。

問

前期計画にあつた優良企業の誘致の項目が今回削除されたが何故か。

答

総務課長

現在、本町においては景観計画の策定に取り組み、今後景観条例の制定を予定している。

茶畑景観とのバランスを考慮し、これまでの誘致ありきの取組みから転換したものである。

問

援農支援と移住、定住促進事業とは。

答

農村振興課長

茶業の6次産業化による観光産業への参入についても交流人口を拡大することにより、地域外の人々が和東町の魅力にふれ将来的に移住につながると考える。



援農支援の方々

営業支援は、茶農家の大半が最盛期に当たる春から夏にかけて、人材不足が生じており、短期雇用の人材を探している現状。そのため都市部から若者に和東町に来ていただき、お茶農家の人手不足を解消し、農業の魅力にふれ若者が学びながら、地域の人たちと交流を通じ、人間関係ができ移住、定住につながると考える。

問

高齢者の介護、医療の維持、
充実に責任果たせ

答

最善の努力をしたい。

要支援サービスの維持を

問

1年後に移行予定の「総合事業」の検討状況は？

答

福祉課長
地域資源の調査結果をもとに提供サービスや事業所との単価決定など事業開始への整理をする予定。

問

現行水準の後退や負担増は許されない。責任をもつて確保すべき。

答

福祉課長
移行期間の平成29年度は前年度実績に応じた補助金交付を見込むが、平成30年度以降は必要なサービスを提供できるように最善の努力をしたい。

問

最善の努力をしても後退したではため。最低限維持すると約束すべき。

答

福祉課長
努力するという事でお願しいしたい。

問

政府に「総合事業」の撤回を求め、さらなる制度改善には反対を。

答

町長
総合事業は持続可能な制度を目的としたもの。今後の制度改正は国の動きを注視する。

問

介護基盤の整備について
グループホーム整備の方



岡本 正意 議員

問

向性は？

答

福祉課長
現在は検討の話はないが、事業者から話があれば前向きに検討したい

後期高齢者の医療守れ

問

保険料値上げへの支援を

答

町長
広域連合で決められた保険料負担をお願いしたい。

問

保険料軽減措置の廃止中止の要請を

答

町長
具体的には明らかにされていない。

問

人間ドックの負担をせめて3割に。一泊や脳ドックも受診対象に。

答

町長
重要な事であり、改善策を考えていく。

答

税住民課長
今後の受診希望者の把握に努めたい。

子育て世帯の経済支援の充実を

問

総合計画では新たな経済支援が全くなく、定住促進、人口増の方向性と矛盾するのでは？

答

町長
今後5年間で交付税が減少になるが、これまでの事業は継続する。

問

現状維持ではなく新たな負担軽減が必要ではないか。

答

町長
十分検討し固定観念でなく進めていく。

問

教育費、保育料の無償化の検討を。

答

町長
公がすべきは公で予算化し、そうでないものは負担していただく、そういう中で検討したい。

問

1200万円で保育料無償化は可能など決して途方もない提案ではなく検討すべき。

答

町長
簡単にはできない。十分協議していく。



グループホーム(加茂ぬくもりの里)

問

路線バスを絶やさないとの強いメッセージを

答

守ろうという意識改革が大事

問

「住民の足を守る」「地域の住民の足を守る」という問題点と考え方は

答 町長

路線バスの、この制度を守ろうという意識改革がたいせつ、みんなで守る体制をつくり上げる事が大事だ。

問

取り込み交通協議会の組織も立ち上げて、府からアドバイスを頂きながら検討をしている。

答 総務課長

JRとバス(加茂く小杉行)の接続時間がない

全ての便とうまく接続できるといいう形は非常に難しい。今後ダイヤ改正等においてより良いダイヤ設定が出来るよう働きかけた。

答 町長

大変厳しい。国の補助、町の単費で運営をしている。住民と行政、交通機関を

問

路線バスの年間輸送人員のピークと現状は

答 総務課長

今年度はピーク時の平成



岡田 泰正 議員

用を促進したい。

人口減少が進む中、過疎地域の状況に応じた補助金の見直しを国・府へ働きかけたい。

利用促進を図ることはもとより、当面は財政負担を軽減するため、7割が交付税算入される過疎対策事業債を活用していきたい。

「地域のかかりつけ医」

患者はまず診療所に

問

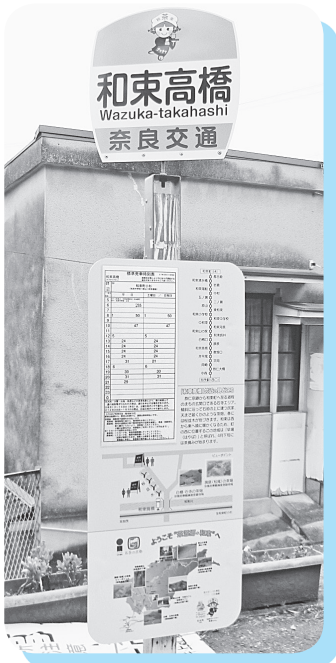
「地域のかかりつけ医」としての診療所の役割とは

答 町長

医者と、薬剤師を確保、体制を整えていくこと。このような充実した医療体制でない、逆紹介に対応出来ない。

答 福祉課長

在宅医療、在宅介護、日常



観光案内が掲載されたバス停留所

的な診療や健康管理等を行ってくれる地域のかかりつけ医は非常に重要な役割を担っていくものと考えている。

問

かかりつけ医を持つことの意味とは

答

国民健康保険診療所事務長

一人の医師に継続的にかかることで、患者自身の病歴や体質、生活習慣などを踏まえた診察を受けることができること。

問

包括システム、在宅療法の充実を図り、きめ細やかなサービス提供は

答

国民健康保険診療所事務長

地域の包括ケアシステムの実現には医療、介護、予防、生活支援、住居である。利用者のニーズに応じた適切なサービスの提供を行い、継続的に入院、退院、在宅復帰を通して切れ目のないサービス提供の充実に努力をしたい。

問

間伐材の活用は

答

木質バイオマス発電は
広域で

問

木材価格の低迷が続く
中、未整備の山が大半を占
め、間伐などが急がれる。
林業振興として実施してき
た「京都モデルフォレスト
」運動の状況は？

答 町長

防災や水源涵養の観点か
ら間伐に力を入れていく運
動として「モデルフォレス
ト」を進めている。現在、
湯船地区で、平和堂と三洋
化成が公園整備等を行って
おり、柚田など4地区で、
サントリーが林道整備等を
続けている。民間では「和
東の森探検隊」が諸活動を
展開している。



モデルフォレスト(間伐作業)

問

「木育」の意味は？

答 農村振興課長

「木育」とは、児童・生
徒の成長に必要とされる知
育・徳育・体育・食育に次
ぐ学習活動の一つで、森林
や環境問題に対する理解を



藤井 清隆 議員

育てるもの。雇用促進協議
会を中心として、「森の探
検隊」などと連携し、人材
育成や木育教材の開発を進
めている。

木質バイオ発電の検討を

問

間伐材等を利用して発電
する「木質バイオ発電」を
提案する。地域の雇用創
出、売電による収益も見込
まれる事業で、導入を検討
しては。

答 町長

バイオマス発電について
は、木材の運搬手段等を含
め、広域行政で取組む必要
がある。

問

必ずしも広域・大規模で
なく、小規模の方が材料が
集めやすく持続する利点
があり検討しては。

答 町長

参加する事業者が居れば
良いが、町主体も第三セク
ターも、森林組合中心も難
しい。広域の取組みの中
で、府北部の動きを見定め
ながら参画するのが大事。
間伐材の利用に関しては、
これまで補助金制度で「切
捨て」をやってきたが、良
い活用法としてストープ用
チップや割木としての活用
も考えられる。

生ゴミ処理をどう進めるか

問

原山区で取組んでおられ
る生ごみ堆肥化事業につい
て報告を。

答 町長

原山区での取組みについ
ては未だ成果が確認されて
いない。

問

ゴミ減量化の決定打とし
て、水分を含んだ生ゴミは

収集せず、各家庭に生ゴミ
処理機を無償配布して堆肥
化してもらい、燃える紙類
のみの収集にしては。ま
た、事業所のゴミは施設で
堆肥化してはどうか。

答 町長

生ゴミ処理は、各家庭の
事情を考慮する中で進める
べき。お願いしているの
は、分別収集の徹底と減量
化への協力である。

答 農村振興課長

生ゴミ処理機は、補助金
事業として大いに進めてい
きたいが、全戸配布は困
難。事業所のゴミは産廃と
なり、処理業者との各自契
約もある。

問

紙類のみ集め、区等で管
理者を決めて焼却してはど
うか。

答 農村振興課長

簡易の焼却場・焼却炉も
一般的に野焼きとなるの
で、東部で一括処理するの
が基本と考える。

意見書

第1回定例会（3月）に次のとおり意見書が提出されました。

路線バス運行への国庫補助制度の改善等、公共交通の維持、充実への支援強化を求める意見書

提案者 井上武津男 議員

可決

賛成者 全員

消費税再増税の中止を求める意見書

提案者 岡本正意

否決

賛成者 4 議員
反対者 5 人

路線バス運行への国庫補助制度の改善等、公共交通の維持、充実への支援強化を求める意見書

鉄道路線のない本町にとって、路線バスは唯一の公共交通機関であり、通勤、通学、通院、買い物など、住民生活にとって欠かす事のできないものです。現在の路線バスの運行は（中略）乗降客の減少が続く中、（中略）ますます厳しさを増しているのが現状です。（中略）このような中、路線バス運行を維持、継続するためにも、国庫補助制度の改善、見直しを切実に望むものです。現行の国庫補助基準では（中略）本町の実態に見合わない状況が年々拡大しています。本町の唯一の公共交通機関である路線バスを支える国庫補助の拡充を強く要望します。（中略）本町では路線バスの維持、充実とともに、コミュニティバスの運行など、便利なまちづくりをめざし検討を進めていますが、その実現のためには（中略）国等の支援強化が欠かせません。「地方創生」を進める上でも、（中略）公共交通の維持、充実は重要な課題であると考えらるものであり、前向きな検討と施策の具体化を望むものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年3月24日 京都府相楽郡和東町議会

各議員の賛否

平成28年第1回定例会(3月)に、町長から提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			竹内きみ代	藤井清隆	村山一彦	吉田哲也	井上武津男	岡田泰正	岡本正意	小西啓	岡田勇	畑武志	
可決	委	平成28年度和東町一般会計予算	-	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
可決	委	平成28年度和東町国民健康保険特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	委	平成28年度和東町下水道事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	委	平成28年度和東町介護保険特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
可決	委	平成28年度和東町後期高齢者医療特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	本	和東町公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
可決	本	和東山の家の設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
可決	本	和東町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
可決	本	和東山の家の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-

※会議区分 本は本会議 委は予算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席
-は採決に加わらない。

畑武志議長は本会議の採決に、竹内きみ代予算特別委員長は決算認定の採決に加わらない。

**医療体制の
充実に向けて**

総務厚生常任委員会

委員長 井上武津男

本委員会は、2月29日に、平成27年の事務事業の進捗状況と平成28年度の予算概要について調査を行った。

27年度予算執行状況では、歳入34億5874万円に対し、24億3569万円の収入で収納率は70%。歳出は、20億3797万円で59%の執行率であった。

総務課では、28年度庁舎改修や耐震補強の実施・設備業務、第4次総合計画後期基本計画策定事業が大詰めであり、総合計画の概要と施策一覧の説明を受けた。

地域力推進課では、景観計画の策定委員会を3回開催し、3月中旬に4

回目の会議を計画している。

福祉課では、満70歳以上を対象とする高齢者肺炎菌ワクチン接種、乳幼児インフルエンザ予防接種をおこなった。

平成28年度一般会計予算は33億4900万円。前年度対比1億9700万円で6.3%増となっている。

特別会計は23億6286万円で3億9007万円増、19.8%の増額となった。

質疑では各委員から、光ボックスの普及率の低さに対する対策、庁舎改修時のエレベーター設置はどのようなになっているか、保育園の英会話を民



英会話を楽しむ園児



和東国保診療所

間委託するときの委託先はどこか。消防団の機能別団員制度の取組みはどのようなものか。町長の町づくりに対する考え、空き家対策、診療所の夜間診療の回数を増やせないか、等々、多数の質疑・応答があり、当日の調査を終えた。

一部事務組合・広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会

連合教育長町に西本吉生氏承認される

3月8日、第1回定例会が開催され、それぞれ各町村3名の議員から一般質問があった。また連合教育長には西本吉生氏が承認された。28年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ8億2825万9000円とし審議の結果、賛成多数で可決した。

京都府地方税機構広域連合議会

副広域連合長に木村要氏再任

2月27日、定例会が開催され、副広域連合長に木村要氏が再任された。28年度一般会計予算は昨年度より776万円の増額となり、歳出の主なもの、業務運営費に1億1011万円、セキユリテイ対策に1812万円などを計上している。27年度補正予算は、予算総額を215億456万円とし賛成多数で可決。

京都府後期高齢者医療広域連合議会

副広域連合長に石井明三氏選任

2月12日に第1回定例会が開催され28年度一般会計並びに特別会計予算・27年度一般会計補正予算並びに特別会計補正予算が提案され、いずれも可決された。同意案件では副広域連合長の選任には、京田辺市長の石井明三氏が選任された。

3月1日に平成28年度の予算の概要等について事務調査を行った。

農村振興課では和東山の家改修工事、約40%の進捗率で、体験交流センターやグリーンティ和東の改修工事、自転車振興計画実施計画の策定は3月中に完成予定。野生鳥獣個体数調整業務は対象区域の協力により3月中旬に完了予定。湯船森林公園整備事業ではマウンテンバイクのイベント等を実施。又、練越事業ではプレミアム商品券や湯船地域の携帯電話等エリア整備事業、JA茶集出荷場も完成した。野生動物里山事業では各営農組合など下島・木屋区の協力を得、追い払いをお願いしている。

建設事業課では町営住宅の建替えや道路・河川災害復旧工事等は完成した。質

疑では青年就農給付金の実態や農地等情報総合管理システムの活用、1種農地・荒廃農地等の点在化に対する農振地の見直し。出品茶の取組み、浄化槽による水洗化の取組み状況、町営第3・第5中西団地住宅建替えに伴う空き家と入居者の現況、老朽化の橋梁点検修理の状況。又、各課ともに半分近くが練越事業であることから健全な処置といえるのか等の意見や質問があった。

町長や担当課からは、青年就農給付金は年150万円を対象者が増えれば補正も検討する。農地管理システムは問合せ時に地図上で対応できるもので、農振地の見直しは町づくりと関連した生きた施策としたい。出品茶は地域ブランドとして一緒に盛り上げが必要で

産業常任委員会

山の家7月オープンに向けて

委員長 吉田哲也



和東山の家改修工事視察

ある。下水道区域外での浄化槽整備は今後も進めなければならぬ事業であるとの回答であった。

町営住宅の空き家活用はアクションプランの樹立が必要で、橋梁点検は一括実施しており、練越事業については国からの補助金等の決定時期が遅くなったことによるもので、財源確保のための対応との回答があった。

午後からは、和東山の家改修工事の現地調査を行った。その後、第4次総合計画後期基本計画の概要説明、又、地方創生関連事業の補正内容や山の家を含む各事業の工期延長等について説明を受け事務調査を終えた。

一部事務組合・広域連合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

公平委員は村城康裕氏を再任。

平成二十八年度第1回相楽郡広域事務組合議会定例会が二月十五日開催。条例改正では主に、行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備を行った。

議案は平成二十七年相楽郡広域事務組合一般会計補正、平成二十七年相楽地区ふるさと振興圏振興事業特別会計補正予算、平成二十八年度相楽郡広域事務組合一般会計補正予算、平成二十八年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算。以上全ての案件は全会一致で可決された。

山城病院組合議会

副管理者に岩瀬充氏が就任。

平成二十八年度第1回国民健康保険山城病院組合議会定例会が二月二十三日に開催。議案についての主なものは、議員の給与に関する一部改正、使用料等徴収の一部改正の条例。平成二十七年国民健康保険事業会計補正予算。平成二十八年度国民健康保険介護老人保健施設事業会計予算で、全会一致で可決された。

相楽中部消防組合議会

第1回組合議会を2月15日に開催

初めに、河合管理者より職員の暴力行為の不幸事に対し深く陳謝され、職員への徹底指導を行うと説明があった。条例改正では職員の給与に関する条例の一部改正と火災予防条例一部改正があった。又、平成二十八年度一般会計予算、平成二十七年一般会計補正予算の増額補正が提案された、以上全ての案件は全会一致で可決された。

まちの
“元気”を
訪ねて

桶力にこめた思いとは 《和東の森探検隊》インタビュー

今回、空き家再生に取り組み4月から「手づくり工房 茶房 桶力」をオープンされた「和東の森探検隊」の皆さんにお話を伺いしました。

Q 「和東の森探検隊」とはどのような団体ですか？

A 3年前に和東町雇用促進協議会が主催する林産業関連セミナーに参加したメンバーが里山整備をしようと団体を立ち上げ、森林整備活動をはじめ間伐材を活用したもののづくりやワークショップに取り組んでいます。

Q 今回の空き家再生に取り組もうと考えたきっかけは？

A ワークショップなどの活動に取り組む中で拠点の必要性を感じていたのですが、木材店を営む代表と仕事で付き合いのあった町内の職人仲間が何か地域に貢献できないかという話になったことがきっかけで、空き家再生による拠点整備につながりました。

Q 空き家再生にあたって苦労されたことは？

A 長年使われていなかった空き家なので、作業してみると建物が想定以上に痛んでいる状況に遭遇したりして、やりながら軌道修正していくという状況でした。また、地域の方に愛される施設にしたいという思いから、ワークショップや子どもの体験活動との連携などにも取り組みながら進めてきました。

Q 元々あった「桶力」という名前を復活させたとお聞きしましたが？

A 地域住民の方に親しみを持って使っていただけの施設にしたいとの思いから、この建物が使われていた時に親しまれてきた「桶力」の名前を使わせようと思いました。

Q 今後の展望はどのように考えていますか？

A 「手づくり工房 茶房」の名前のとおり、木工のワークショップを定期的で開催して多くの方に和東の森について考えていただく場を提供していくとともに、土日祝日には縁側カフェとして観光客や地域の方が気軽に寄っていただけるような施設にしていきたいと思っています。



和東の森探検隊

編集後記

和東の里に今年もお茶の季節が訪れ、毎日が慌ただしく過ぎていきます。議会も新しい体制になり、早1年が過ぎました。

平成28年度は、昨年以上に色々な側面から「開かれた議会」に向けた取り組みを計画しています。議場は30数年ぶりに改修され、空調や音響機器類が新しくなりますが、それだけではなく議会中継を見据えて、テレビカメラも備え付ける予定です。

今回の議会だよりも議会ならではの切り口と視点をこれまで以上に盛り込み、充実度の増した記事を目指しました。ご覧いただいた感想はいかがでしょうか。

来る、7月の参議院選挙からは、18、19歳の若者も選挙権が与えられ政治に参加されます。それらも踏まえ、これまで以上に議会人として精進しなければと考えています。

(T・H)

広報編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 岡本 正意 |
| 副委員長 | 井上 武津男 |
| 委員 | 吉田 哲也 |
| 委員 | 畑 武志 |
| 委員 | 岡田 泰正 |

第2回定例会は、6月10日開催予定。傍聴にお越しく下さい。

問合せ先 和東町大字中小字式部47
取材 (T・H T・Y)
代表 北 和久 (TEL 78-2104)